Colorcon　マレーシア新製造施設のグランドオープンを祝う

ジョホール工場はColorconにとって7番目の主要フィルムコーティング工場であり、世界で16番目の製造施設です。

米国ペンシルベニア州ハーレーズビルおよびマレーシア・ジョホール – 2025年7月24日

医薬品および栄養補助食品業界向けのフィルムコーティングシステム、特殊賦形剤、徐放性製剤、雰囲気制御包装のグローバルリーダーであるColorconは、マレーシア・ジョホールに最新鋭のフィルムコーティング製造施設を新たに開設したことを発表しました。

この20万平方フィートの施設では、初期段階で30名を雇用し、アジア太平洋地域におけるフィルムコーティングの生産拠点として機能します。最先端技術と省エネルギーシステムを備えたこの新工場は、業界の革新、卓越した品質、規制対応、そして環境保全に対するColorconの取り組みをさらに強化するものです。

ColorconのCEOであるSimon Taskerは本プロジェクトについて次のように述べています：「アジア全域の製薬業界のお客様を支援するために、この世界クラスの施設を開設できることを大変嬉しく思います。この投資は、フィルムコーティングのグローバルな供給モデルを強化し、リスクを軽減するという当社の長期的なビジョンに沿ったものです。市場の成長を先取りし、需要に常に先んじて対応できるよう、生産能力を拡充することが私たちの目標です。これは、現在進行中の多くの開発プロジェクトのひとつであり、『お客様が必要とする場所に常に存在する』という当社の信条を支えるものです。」

Colorconのマネージングディレクターであるwillem Hoogwaterは次のように述べています：「この施設の完成は、現地チームにとって非常に大きな成果であり、完成に尽力してくれたすべての方々に感謝いたします。私たちは、成長著しいこの地域に、優れたフィルムコーティング技術と世界クラスの製造施設を提供できることを誇りに思っています。マレーシアは高付加価値の医薬品製造における重要な拠点として急速に台頭しており、今回のような投資を通じて地域経済を支援できることを嬉しく思います。この施設を通じて、今後も長きにわたり、地域のお客様により効率的なサービスを提供できることを楽しみにしています。」

1961年の創業以来、Colorconはフィルムコーティング技術のリーダーであり、今回の施設は世界で7番目の製造拠点となります。1980年に発売された「オパドライ」は、世界初の完全なフィルムコーティングシステムとして、製薬業界に革命をもたらしました。プロセスの簡素化、バッチの均一性向上、エラーの最小化を実現し、錠剤コーティングの在り方を一変させました。それ以来、オパドライは、味のマスキング、湿気からの保護、飲みやすさの向上、規制対応など、さまざまな製剤・製造課題に対応する高性能フィルムコーティングの包括的な製品群へと進化しています。詳細は www.colorcon.com をご覧ください。

Colorconについて

Colorconは、医薬品および栄養補助食品業界向けのフィルムコーティングシステム、徐放性技術、コアに使用する賦形剤、雰囲気制御包装の開発・供給・技術サポートにおける世界的リーダーです。Colorconの卓越した製品と技術は、豊富な応用データと付加価値サービスによって補完され、設計・開発・製造を含む固形経口製剤のあらゆる段階を支援します。市場課題への対応と技術開発への注力により、Colorconは製薬業界における信頼のパートナーとして国際的な評価を得ています。詳細は www.colorcon.com をご覧ください。

Colorcon広報担当：

Katie Scharff | Director - Global Market Communications
katie.scharff@colorcon.com